

## 平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

平成29年8月18日に文部科学省から提供された全国学力・学習状況調査結果について、上野原市の分析結果がまとまりましたのでお知らせします。

本調査は、本年4月18日に全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることなどを目的として、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施されました。

内容は、教科に関する調査（国語、算数・数学）と生活習慣や学習環境等に関する調査が行われ、市内5校の小学校第6学年の児童176名の内170名、3校の中学校第3学年の生徒189名の内182名が参加しました。

この調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、教育委員会としましては、今後、この分析結果を生かしながら、児童生徒の学力や生活習慣の向上を図り、教育委員会教育方針であります「確かな学力と豊かな心の育成を目指した教育の充実」の実現に向けて、なお一層の教育活動を推進していきたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が欠かせませんので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、各学校における教科に関する考察と今後の対策等については、個人面談や学校だよりなどにおいて保護者の皆様にお知らせする予定です。

上野原市教育委員会

### ○教科に関する調査の状況について

問題種別	国語		算数・数学	
	A（知識）	B（活用）	A（知識）	B（活用）
小学校6年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等
中学校3年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等	国とほぼ同等

\*A（知識）：身に付けておかなければ後の学年の学習内容などに影響を及ぼす内容

\*B（活用）：知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容

\*教科に関する考察と今後の対策については、2ページ、3ページをご覧ください。

### ○生活習慣や学習環境に関する調査の状況について

\*4ページ、5ページをご覧ください。





# 平成29年度 上野原市全国学力・学習状況調査 教科に関する考察と今後の対策

## 小学校(国語)

国語 A		国語 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む、書く。</li> <li>・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う。</li> <li>・古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを広めたり深めたりするための発言の意図を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す。</li> <li>・物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読みだけでなく、書くこともできるようになってきている。今後も朝の学習活動の取組を継続しながら、家庭学習の充実にあたる。</li> <li>・学習活動において、音声、文字、グラフ、図などから情報を正確に得ていることを確認しながら指導を進める。</li> <li>・古文への馴染みがないため、読書活動と関連づけて触れる機会が増えるようにする。</li> <li>・国語はもとより全ての教育活動で、根拠となる事柄を明確にして自己の考えや感想を書いたり、発表したりする活動を継続して行う。</li> </ul>

## 小学校(算数)

算数 A		算数 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1より小さい小数の乗法の問題場面を理解し、数量関係を数直線に表すことができる。</li> <li>・小数と整数の加法計算ができる。</li> <li>・加法と乗法の混合した整数と小数の計算ができる。</li> <li>・正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解している。</li> <li>・未知の数字を表す口を用いて、問題場面を除法の式に表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・示された条件を基に、適切な式を立てることができる。</li> <li>・示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できる。</li> <li>・仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算問題はとともよくできており、今後も朝の学習活動を継続して行う。また、家庭学習の充実により一層の定着に取り組む。</li> <li>・図形や立体の学習理解に有効なデジタル教科書等ICT機器の活用をさらに進める。</li> <li>・問題解決型の学習により、多様な考え方を理解し、根拠を示しながら一般化する学習指導を継続して行う。</li> </ul>



# 平成29年度 上野原市全国学力・学習状況調査 教科に関する考察と今後の対策

## 中学校(国語)

国語 A		国語 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>文脈に即して漢字を正しく読む。</li> <li>語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。</li> <li>目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる。</li> <li>場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。</li> <li>文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広げる。</li> <li>語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文脈に即して漢字を正しく書く。</li> <li>事象や行為などを表す多様な語句について理解する。</li> <li>楷書と行書との違いを理解する。</li> <li>相手に分かりやすいように語句を選択して話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。</li> <li>必要な情報を集めるための見通しを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す。</li> <li>目的に応じて必要な情報を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句の理解を充実させ、文脈に即して書く指導を継続して行う。</li> <li>書写では書体の違いを比べながら指導する。</li> <li>複数の資料から見通しを持って必要な情報を読み取る指導を行う。</li> <li>選択式の問題だけでなく、記述式の問題についても良い回答が得られているので、さらに自分の考えを分かりやすくまとめて書く活動を繰り返し行う。</li> <li>聞き手のアドバイスを活かして話す機会を多く持たせるために、少人数の言語活動を積極的に取り入れる。</li> </ul>

## 中学校(数学)

数学 A		数学 B		今後の対策
できている点	課題となる点	できている点	課題となる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>等式の性質を基にして、一元一次方程式を解くことができる。</li> <li>見取図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取ることができる。</li> <li>多角形の内角の和の求め方を理解している。</li> <li>長方形の縦の長さや面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な場面で、数量の関係を一元一次方程式で表すことができる。</li> <li>錯角の意味を理解している。</li> <li>作図の手順を読み、根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している。</li> <li>反比例の表から比例定数を求めることができる。</li> <li>一次関数の表から変化の割合を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象を図形間の関係に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる。</li> <li>2つの図形の間を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる。</li> <li>具体的な数を用いて、課題を明確に捉えることができる。</li> <li>与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができる。</li> <li>数学的な表現を通して、事柄が成り立つ理由を筋道を通して説明することができる。</li> <li>正三角形に付加された条件の下で、図形の性質を用いて角の大きさを求めることができる。</li> <li>資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する事ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習用のプリントを作成し、定期的な学習支援を行う。</li> <li>「めあて」と「まとめ」を明確にし、根拠や理由を説明させるなど学習プロセスを大切に授業を実践する。</li> <li>数学的な表現を用いて、事柄や成り立つ理由を説明する活動を充実させる。</li> <li>図形の性質を理解させ、多様な問題の解決に活用できる学習の機会を増やす。</li> <li>資料の活用において、グラフの形や代表値などを数学的な表現を用いて判断の理由を説明する学習活動を行う。</li> </ul>



# 生活習慣や学習環境に関する調査の状況

表の数値は、選択肢のうち「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的な回答として割合を示しました。

\* 次の調査結果は、重要で関心が高いと思われるものと課題となるものを抜粋しています。

## 1 生活習慣等について

〔単位：％〕

朝食を毎日食べていますか			
	市	全国	差
小	95.3	95.4	-0.1
中	92.3	93.2	-0.9

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか			
	市	全国	差
小	84.7	79.8	4.9
中	67.6	75.6	-8.0

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか			
	市	全国	差
小	84.1	77.4	6.7
中	75.8	71.0	4.8

自分には、よいところがあると思いますか			
	市	全国	差
小	77.0	77.9	-0.9
中	78.0	70.7	7.3

将来の夢や目標を持っていますか			
	市	全国	差
小	82.9	85.9	-3.0
中	68.7	70.5	-1.8

普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(パソコン・携帯・スマホのゲームを含む)をしますか(2時間以上)			
	市	全国	差
小	28.8	31.1	-2.3
中	37.3	37.6	-0.3

普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(30分以上)			
	市	全国	差
小	34.2	32.7	1.5
中	74.1	66.3	7.8

テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めてしていますか			
	市	全国	差
小	57.7	58.3	-0.6
中	31.3	34.0	-2.7

今住んでいる地域の行事に参加していますか			
	市	全国	差
小	62.3	62.6	-0.3
中	53.3	42.1	11.2

- ・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している児童生徒の割合が増加しています。また、自分にはよいところがあると思う児童生徒も多く、中学生ではその割合が全国平均を上回っています。今後もそれらの姿勢を継続させたいと思います。
- ・テレビゲーム(携帯やスマホなどのゲームを含む)を2時間以上する児童生徒の割合が減少していますが、小学生の約23%、中学生の約40%が、テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていないという状況です。長時間テレビを見たり、ゲームしたりすることは、学習時間や睡眠時間への影響が課題となります。
- ・携帯電話やスマートフォンを30分以上使用する児童生徒の割合は全国平均を上回っています。昨年度急増した小学生の割合は減少し、中学生の割合は増加しています。また、中学生では4時間以上使用する割合が約13%と昨年度のおよそ倍になっています。テレビゲームなどと同様に、学習時間や睡眠時間への影響が課題となります。
- ・地域の行事に参加する児童生徒の割合が減少しています。中学生は本年度も全国平均を上回っていますが、減少の割合は小学生よりも大きくなっています。また、小学生の約30%、中学生の約50%が「地域の大人と全く関わっていない」と答えています。今後とも、地域での温かい支援をお願いします。



## 2 学習環境等について

〔単位：％〕

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）			
	市	全国	差
小	71.1	64.4	6.7
中	76.4	69.6	6.8

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（30分以上）			
	市	全国	差
小	41.2	36.5	4.7
中	35.7	29.2	6.5

家で、学校の宿題をしていますか			
	市	全国	差
小	96.5	96.9	-0.4
中	87.9	89.5	-1.6

家で、学校の授業の予習をしていますか			
	市	全国	差
小	46.5	41.0	5.5
中	23.6	31.7	-8.1

家で、学校の授業の復習をしていますか			
	市	全国	差
小	70.6	53.8	16.8
中	54.9	50.5	4.4

学校に行くのは楽しいと思いますか			
	市	全国	差
小	83.5	86.3	-2.8
中	78.6	80.9	-2.3

学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか			
	市	全国	差
小	95.9	96.4	-0.5
中	95.0	94.6	0.4

友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか			
	市	全国	差
小	91.2	85.5	5.7
中	91.8	88.4	3.4

学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか			
	市	全国	差
小	88.2	87.8	0.4
中	84.6	86.0	-1.4

人が困っているときは、進んで助けていますか			
	市	全国	差
小	86.4	85.3	1.1
中	87.4	84.4	3.0

先生は、間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか			
	市	全国	差
小	91.2	85.1	6.1
中	70.4	75.5	-5.1

外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか			
	市	全国	差
小	80.6	70.4	10.2
中	72.6	64.3	8.3

国語の勉強は大切だと思いますか			
	市	全国	差
小	90.6	91.2	-0.6
中	89.5	88.8	0.7

算数や数学の勉強は大切だと思いますか			
	市	全国	差
小	91.8	92.0	-0.2
中	85.7	81.1	4.6

算数や数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか			
	市	全国	差
小	86.5	81.1	5.4
中	79.1	73.5	5.6

- ・家庭(塾等を含める)で1時間以上勉強する児童生徒の割合は増加し、全国平均を上回っています。学校の宿題は多くの児童生徒が家でしっかりできており、昨年度の課題であった授業の予習や復習は、中学生の予習のみ課題となっています。
- ・学校へ行くのが楽しい、友達と会うのが楽しいと思う児童生徒が多くいます。また、友達と協力し、助け合って学校生活を送っています。
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童生徒の割合が全国平均を上回っています。今後の外国語教育の充実につながると考えます。
- ・国語や算数、数学の勉強は大切だと思う児童生徒が多くおり、ほとんどの中学生が数学ができるようになりたいと思っています。また、算数や数学の問題の解き方が分からないときに諦めずにいろいろな方法を考えるという児童生徒も多く、理解力向上につながると考えます。